

7日 水曜

列王Ⅱ

20:1 そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。治らない。』」

20:2 ヒゼキヤは顔を壁に向け、【主】に祈った。

20:3 「ああ、【主】よ、どうか思い出してください。私が真実と全き心をもって、あなたの御前に歩み、あなたの御目にかなうことを行ってきたことを。」ヒゼキヤは大声で泣いた。

20:4 イザヤがまだ中庭を出ないうちに、次のような【主】のことばが彼にあった。

20:5 「引き返して、わたしの民の君主ヒゼキヤに告げよ。あなたの父ダビデの神、【主】はこう言われます。『わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ、わたしはあなたを癒やす。あなたは三日目に【主】の宮に上る。』」

20:6 わたしは、あなたの寿命にもう十五年を加える。わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し、わたしのために、わたしのしもべダビデのためにこの都を守る。』」

20:7 イザヤが「ひとかたまりの干しいちじくを持って来なさい」と命じたので、人々はそれを持って来て腫物に当てた。すると彼は治った。

20:8 ヒゼキヤはイザヤに言った。「【主】が私を癒やしてくださり、私が三日目に【主】の宮に上れるしるしは何ですか。」

20:9 イザヤは言った。「次のことが、あなた



への【主】からのしるしです。【主】は約束したことを成就されます。影が十度進むか、十度戻るかです。」

20:10 ヒゼキヤは答えた。「影が十度伸びるのは容易なことです。むしろ、影が十度後に戻るようにしてください。」

20:11 預言者イザヤが【主】に祈ると、主は、アハズの日時計に落ちた日時計の影を十度後に戻された。

アッシリヤを恐れないヒゼキヤでしたが、死に対しては弱さを隠せませんでした。「大声で泣いた」とあります。神様の答えが「アッシリヤの王の手から、…救い出し…」とありますから、彼は自分がなくなった後の王国の行く末を案じていたのかもしれませんが、また跡継ぎのマナセはこの後に生まれますから、後継者を案じていたのかも知れません。

私たちもこの世を去るときには、様々な備えが必要であり、主のあわれみとご計画をいただかなければならないことです。自分では寿命を決めることはできないのです。常に主に委ねつつ、主から与えられた時を大切にしてください。

主は日時計の影を戻すという超自然的な方法によって、ヒゼキヤに確信を与えられました。これは、地球の自転を戻したと理解してもよいですし、何か当時の人々には解明できない現象を用いたと理解してもよいでしょう。主のみわざは信じる者には分るが、信じなければ何も意味がないというような出来事の場合が多いようです。これは主の知恵であって、人間の心にある信仰の有無を明かにするためのなのでしょう。

自分の人生についての意味と、主のみわざをしっかりと見て、最期まで最善としていただけるように、日頃からみこころを聞いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

